



## 身近な素材を使って表現！造形表現1級に挑戦！

生活科学科の生徒が合格目標としている保育技術検定（以下、保育検定）には「造形表現」・「言語表現」・「家庭看護」・「音楽リズム表現」の4種類があります。

その内、造形表現では折り紙や描画、貼り絵などを通して、幼児とのコミュニケーションを図る方法や幼児の心を豊かに育むために必要な知識・技術を身につけることを目的としています。また、身近にある素材（空き箱や紙、廃材など）を使用して立体的な壁面構成（※）も行い、幼児の保育環境を整えるための知識や技術習得も目標にしています。

そして、今回は、保育コース・生活福祉コースの3年生が保育検定の造形表現1級合格に向けて取り組んでいる実習の様子をお伝えします。



学年	合格を目標とする検定名
1年生	造形表現4級
保育・生活福祉コース2年生	造形表現3、2級
保育・生活福祉コース3年生	造形表現1級



※壁面構成とは保育室などを装飾することをいいます。幼児の健やかな心身の発達のため、季節や行事に関する興味・関心を高め（5月のこどもの日や7月の七夕、12月のクリスマスなど）、幼児の心身や発達段階に応じた題材をテーマに装飾を行います。



造形表現1級では、幼児の健やかな心身の発達を促すための保育環境として壁面構成を作製し、その素材として身近にある廃材などを活用します。そのために必要な知識・技術を総合的に身につけることを目標に、あるテーマに沿った作品を50分以内で制作します。今回は「運動会」というテーマで練習しました。

これまで学んできた折り紙・描画・貼り絵の手法を活かしたり、卵のパックや空き箱など立体的な素材に苦戦しながら、制限時間内に作品を完成させていきます。

何度も練習し全員合格を目指します！みんな頑張ってください^^

